

令和3年度 教育文化部 重点施策の実施結果

達成
状況

S… 目標を上回る結果となった
A… 目標通り達成した
B… 達成したが課題が残っている
C… 達成できなかった

総 括

・学校教育では、「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくりを目指し、小中一貫教育「学びの庭」構想として事前に進めてきた岳洋学舎に続き、菊西学舎、菊東学舎においても学舎運営協議会を開催し、小中一貫教育としての取り組みを開始することができました。また、小笠南小学校の耐震補強及び大規模改造工事を実施し、児童の学習環境や生活環境を向上させることができました。学校給食センターでは、1年を通して地場産品を活用した安全でおいしい給食の提供ができました。

・社会教育では、「市民一人ひとりが心豊かで、充実した人生を送ることができる社会」の実現を目指し、令和5年度から5年間の計画となる第2次文化振興計画を策定しました。また、文化・芸術の拠点である文化会館アエルの設備を更新することで、施設の長寿命化や学習環境の向上を図ることができました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、文化財やスポーツに関する事業は当初予定していた計画が中止となり達成目標には至りませんでした。

・図書館では、多様化する市民ニーズに対応するため、「ふじのくにアーカイブ」にデジタル化した郷土資料を10件追加しました。また、菊川文庫と小笠図書館の両館に特色を持たせた事業展開を行うため、特設コーナーを設置しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成 状況	実施結果
1	小中一貫教育「学びの庭」構想の推進 (学校教育課)	「学びの庭」構想を市内全域で本実施し、岳洋学舎、菊西学舎、菊東学舎の3つの学舎において、9年間を通した一体的な学びを地域と連携しながら進めます。	令和4年2月末までに、岳洋学舎、菊西学舎、菊東学舎の3つの学舎運営協議会を各2回以上開催します。	A	菊西学舎は6月に、菊東学舎及び岳洋学舎は7月に第1回の運営協議会を開催しました。第2回は新型コロナウイルス感染拡大により、3学舎いずれにおいても運営協議会を2月に書面にて開催しました。
2	一人ひとりを大切に、子供が主体的に学ぶ学校づくり (学校教育課)	確かな学力の定着を目指し、一人一台端末を活用した主体的な学びを実現する授業改善を推進するとともに、子供一人ひとりに目を向け、多様性に応じた指導・支援を行います。	主体的に学ぶ授業づくりを推進するために、ICT機器を活用した「きくがわ21世紀型授業」の指導案や資料等を50以上共有フォルダに保存し、市内小中学校で共有します。	A	指導案及び資料については、各学校から65例が提出されました。 学校間で共有することにより、研修や授業改善に有効に活用することができました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成状況	実施結果
3	学校施設の維持管理及び整備 (教育総務課)	小笠南小学校校舎は耐震性能については不足しています。また経年老朽による建物や設備の劣化が見られます。本年度においては、耐震補強工事に併せ大規模改造工事を実施し、良好な教育環境の確保に努めます。	令和3年12月末までに小笠南小学校耐震補強・大規模改造工事を完成します。	A	令和3年10月末に工事が完成し、11月には国庫補助に係る実績報告を行い、12月には補助金の額が確定しました。 耐震補強及び大規模改造工事の完成に伴い、校舎における安全性の向上及び児童の学習環境向上が図られました。
4	安全でおいしい給食の提供 (教育総務課)	地場産品使用率を前年度実績以上に向上させ、安全でおいしい給食の提供に努めます。	安全でおいしい給食を衛生的に提供できるように努め、地場産品の使用率について前年度以上とします。 (令和2年度実績45% (R3.3月末現在))	A	地場産品を活用した献立となるふるさと給食週間、地産地消の日を実施し、地場産使用率については県内産で45.98%使用し提供することができました。 今後も安全でおいしい給食を衛生的に提供できるように努めます。
5	学習・体験活動の推進 (社会教育課)	中央公民館を活動拠点として、新しい生活様式への対応を踏まえた各種講座の企画や、情報提供を行います。 また、文化会館アエルは老朽化による建物や設備の劣化が見られます。施設の計画的な整備に努めます。	令和4年3月末までに文化会館アエルの設備更新工事4件を完成します。	A	令和4年3月末までに工事4件(大ホールピンスポット・舞台照明調光電源調整装置・受電設備換気扇・非常用発電装置蓄電池交換)の工事が完成しました。完成により、文化会館の長寿命化及び市民の文化芸術活動や学習環境の向上が図られました。
6	文化財の保存・周知・活用 (社会教育課)	文化財を後世に確実に継承するため適切に保存するとともにホームページ等において、文化財の情報発信に努めます。 また、歴史・文化遺産を活用した各種事業を計画し、文化財の普及・顕彰の推進を図ります。	①文化財ウォーキングイベント、街道画展示、文化財スタンプラリーを開催します。 ②令和4年3月末までに第2次文化振興計画を策定します。	A	①11月28日に横地地区で文化財ウォークを開催し、29名の参加がありました。また、菊川文庫と中央公民館で街道画の展示を行いました。文化財スタンプラリーは、新型コロナウイルス感染拡大により、7月末から8月中旬まで期間を短縮して開催しました。 ②文化振興計画においては、第1次計画の事業の進捗管理を行うとともに、令和4年3月に第2次文化振興計画を策定しました。

	重点施策・事業	取 組 内 容	達成目標	達成状況	実施結果
7	生涯スポーツの推進と施設の整備・管理 (社会教育課)	誰もが気軽に参加出来るスポーツ教室や大会を開催し、生涯スポーツの普及に努めます。 また、今後も計画的に体育施設のLED化等施設の改修・整備を進めて行きます。	①スポーツ教室を全3回、大会等を全4回開催します。 ②令和3年12月末までに和田公園テニスコート照明灯のLED化工事を完成します。	C	①スポーツ教室は、シニア健康体操及び親子スポーツ教室を開催しました。しかし、2月に計画していたスポーツ講座は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 スポーツ大会等は、募集まで実施していたものもありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により市民健康駅伝競走大会等4件全てが中止となりました。 スポーツ教室、スポーツ大会等のいずれも計画どおり準備を行っていましたが、開催することができないものもあり目標達成には至りませんでした。 ②12月末までの完成にむけ事業を進めましたが、照明灯と同時に交換予定であったブレイキングタイマーの納入が、新型コロナウイルス感染症等の影響で予想以上の期間を要したため、令和4年1月末の工事完成となりました。
8	多様な図書館サービスの展開 (図書館)	菊川市立図書館ホームページや静岡県立中央図書館・国立国会図書館のサービス等を活用して、市民が利用できる資料の幅を広げます。	①デジタル化資料の公開件数を10件以上増やします。 (令和2年度末13件) ②国立国会図書館等のオンラインサービスを導入します。	A	①新たな資料10件をデジタル化し、令和3年12月26日から市ホームページと県立中央図書館ホームページで公開しました。 ②令和3年10月29日から両館共に国立国会図書館デジタルコレクション閲覧サービスを開始しました。
9	図書館資料の充実 (図書館)	各館の利用傾向や立地を生かし、それぞれに特色を持たせた事業展開と効果的な資料収集を行います。	菊川文庫は中高校生やシニア世代向け、小笠図書館は多文化や子育て支援に重点をおいて事業実施や資料収集を行い、それぞれの館でこれらをテーマとした特設コーナーを設置します。	A	菊川文庫では中高生向けに大学の学部を紹介する本や人気の小説等、シニア世代向けには、定年後の生き方や60歳以降からの趣味や仕事についての本等のコーナーを設置しました。また、小笠図書館では外国語の絵本などを揃えた多文化コーナーと、離乳食の本や赤ちゃんとの楽しい時間の過ごし方の本等を揃えた子育て支援のコーナーを設置しました。今後もそれぞれの特色を活かした事業展開と資料収集を行います。